



2025年度第2四半期決算 および 2025年度業績見通し

2025年11月5日

帝人株式会社

決算発表のポイント

2025年度第2四半期実績

- 事業利益：130億円（前年同期比▲56億円）
 - ✓ マテリアルは大型定修影響等により減益、ヘルスケアは在宅医療機器のレンタル台数増加等により増益
- アラミド事業で固定資産の減損処理を実施

2025年度業績見通し

- 事業利益：250億円（前回見通し比▲100億円）
 - ✓ マテリアルにおける業績回復遅れやアラミドペーパー事業の譲渡（2025年9月から損益除外）等により減益
- 年間配当：1株当たり50円を予定（中間配当は1株当たり25円で決定） ※前回見通しから変更なし

目次

- 1 2025年度第2四半期決算
- 2 2025年度業績見通し
- 3 次期中期経営計画に向けた取り組み
- 4 参考資料

目次

- 1 2025年度第2四半期決算**
- 2 2025年度業績見通し
- 3 次期中期経営計画に向けた取り組み
- 4 参考資料

実績サマリー（前年同期比）

- 売上収益は**565億円**の減収、事業利益は**56億円**の減益
- アラミド事業における構造改革費用や減損損失等の計上により親会社の所有者に帰属する中間損失は**548億円**

(億円)	24年度上期	25年度上期	差異
売上収益	5,075	4,510	✓ -565
事業利益	186	130	✓ -56
金融収益および費用	▲ 49	▲ 39	+11
非経常項目	▲ 632	▲ 648	-15
その他	▲ 64	7	+72
非継続事業からの中間利益	26	-	-26
親会社の所有者に帰属する 中間損失	▲ 534	✓ ▲ 548	-15
ROE ^{*1}	-26.0%	-26.7%	-0.8%
ROIC ^{*2}	3.3%	2.6%	-0.8%

PL換算レート	円／米ドル	153	146
	円／ユーロ	166	168
原油(Dubai)価格（米ドル／バレル）		81	69
欧州天然ガス価格（ユーロ／MWh）		34	34

*1 ROE：親会社の所有者に帰属する中間利益(損失)÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分

*2 ROIC：税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本にて算出（投下資本=資本+有利子負債）

実績サマリー（前年同期比） | セグメント別

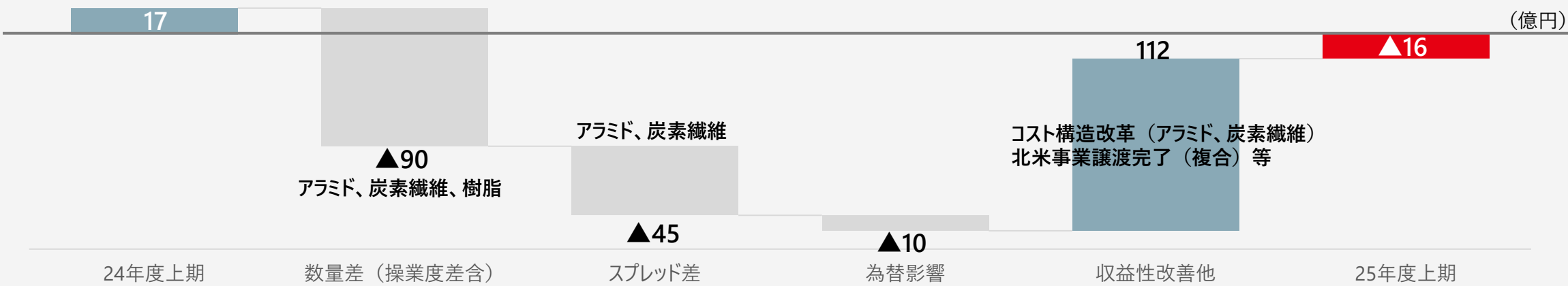
- 売上収益は、主に複合成形材料 北米事業の譲渡により**565億円**の減収
- 事業利益は、主にマテリアルでの競争激化やアラミド事業での大型定修の影響等により**56億円**の減益

(億円)	売上収益				事業利益			
	24年度 上期	25年度 上期	差異	増減率	24年度 上期	25年度 上期	差異	増減率
マテリアル	2,345	1,876	-469	-20.0%	17	▲ 16	-33	-
繊維・製品	1,739	1,704	-35	-2.0%	101	90	-11	-11.2%
ヘルスケア	693	684	-9	-1.3%	54	71	+17	+31.2%
その他	299	247	-52	-17.2%	55	33	-22	-39.6%
消去又は全社	-	-	-	-	▲ 40	▲ 47	-7	-
合計	5,075	4,510	✓ -565	-11.1%	186	130	✓ -56	-30.0%

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | マテリアル

売上収益 1,876億円（前年同期比：▲469億円） **事業利益** ▲16億円（前年同期比：▲33億円）

- 複合成形材料 北米事業の譲渡が2025年7月1日に完了
- アラミド、炭素繊維でのコスト構造改革が進捗。一方、大型定修や販売構成の悪化等により減益



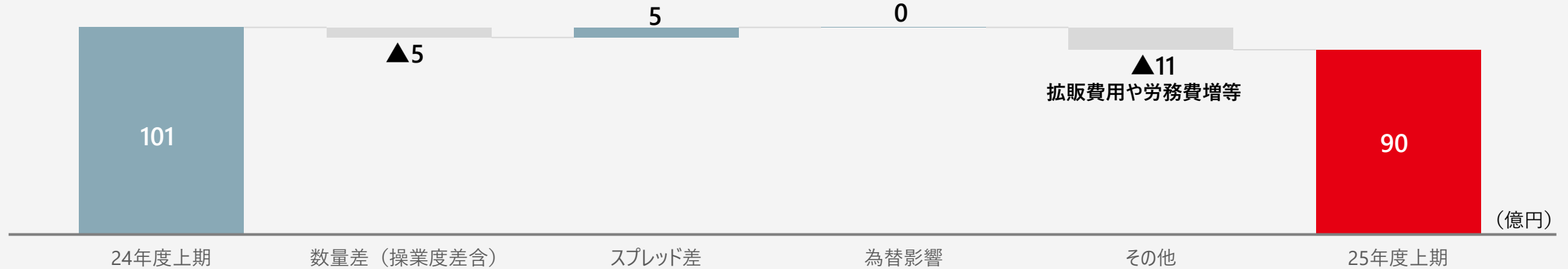
	アラミド ➡	樹脂 ➡	炭素繊維 ➡	複合成形材料 ➡
増加 (+)	コスト構造改革 生産最適化等によるコスト削減 原燃料価格低下	スプレッド維持	コスト構造改革 生産最適化等によるコスト削減	収益性改善効果の定着 北米事業の譲渡完了に伴う赤字解消
減少 (-)	操業度低下（大型定修等） 火災による影響は年間では軽微 販売価格低下（ユーロ高、拡販等） 光ファイバー用途等	販売量減少 事務機用途等	販売量減少に伴う操業度低下 航空機、産業用途等 一部用途での販売価格低下 産業、レクリエーション用途	

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | 繊維・製品

売上収益 1,704億円（前年同期比：▲35億円）

事業利益 90億円（前年同期比：▲11億円）

- 全体的に販売は堅調に推移
- 今後の拡販に向けた取り組みとして本社費等が増加

増加
(+)

- 販売堅調
衣料繊維：北米向けテキスタイル、国内および中国向け衣料品
産業資材：水処理フィルター向けポリエステル短繊維や生活雑貨は好調維持
- 原燃料価格低下

減少
(-)

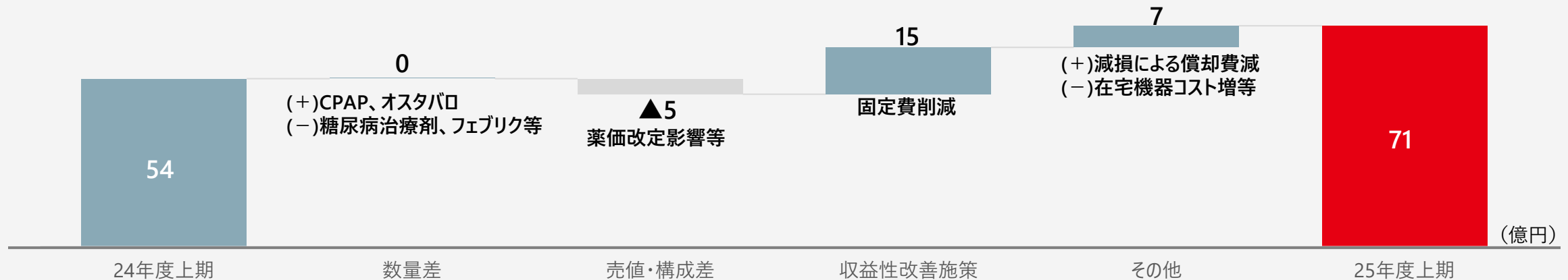
- 販売減少
衣料繊維：中国向けテキスタイル（前年度に前倒し出荷）
- 拡販費用や労務費の増加等

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | ヘルスケア

売上収益 684億円（前年同期比：▲9億円）

事業利益 71億円（前年同期比：+17億円）

●CPAPレンタル台数の増加や固定費削減効果の発現等により増益

増加
(+)

- CPAPレンタル台数増加
検査数増加に伴う新規処方件数の拡大
- オスタバロ販売量増加
- 事業構造改革による固定費削減
- 償却費減少
糖尿病治療剤販売権の減損等

減少
(-)

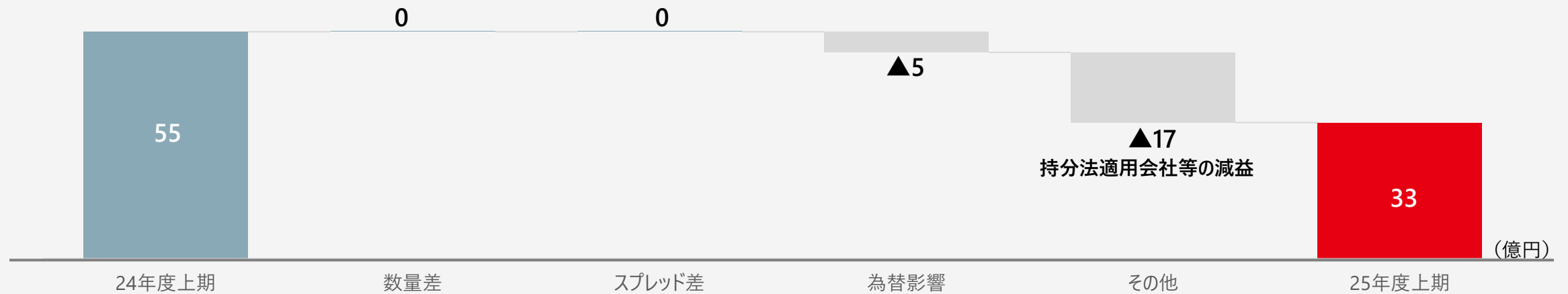
- 医薬品販売量減少
糖尿病治療剤、フェブリック等
- 薬価改定による影響
- CPAP新機台投入に伴う償却費や消耗品使用量の増加に伴うコスト増

セグメント別事業利益増減分析（前年同期比） | その他

売上収益 247億円（前年同期比：▲52億円）

事業利益 33億円（前年同期比：▲22億円）

- セパレータおよびメンブレンの販売は堅調に推移
- 持分法適用会社等の減益（アラミドペーパー事業損益の除外）

増加
(+)

- 販売堅調
セパレータ（電子デバイス）、メンブレン（半導体関連）

減少
(-)

- 持分法適用会社等の減益
アラミドペーパー事業損益の除外（2025年9月から）
グループ会社における損益の期ずれ影響 等

金融収益および費用、非経常項目（前年同期比）

金融収益および費用

- 有利子負債の返済により支払利息が減少

(億円)	24年度上期	25年度上期	差異
受取利息	14	15	+1
受取配当金	4	5	+2
その他	7	3	-4
金融収益 計	25	24	-1
支払利息	▲54	▲38	✓ +16
為替差損	▲19	▲21	-2
デリバティブ評価損	▲0	▲1	-1
その他	▲1	▲3	-2
金融費用 計	▲74	▲62	+12
金融収益および費用 計	▲49	▲39	✓ +11

※ 益プラス表示、損マイナス表示

非経常項目

- アラミド事業の減損損失および複合成形材料 北米事業の株式売却損を計上

(億円)	24年度上期	25年度上期	差異
固定資産売却益	4	19	+15
固定資産処分損	▲12	▲4	+8
減損損失	▲578	✓ ▲522 ^{*1}	+55
関係会社株式売却損	-	✓ ▲111	-111
その他	▲46	▲29 ^{*2}	+17
非経常項目 計	▲632	▲648	-15

*1 アラミド事業の減損（484億円）等

*2 アラミド事業の構造改革費用等

財政状況（前年度末比）

●総資産・負債は前年度末比減少

複合成形材料 北米事業の除外およびアラミド事業における固定資産の減損等

25年6月末に一時的に増加していた有利子負債および現金は複合成形材料 北米事業の譲渡完了に伴い25年3月末水準へ

	(億円)	25年3月末	25年9月末	差異	内 為替換算影響
総資産		10,613	9,680	✓ -933	+142
負債		6,227	5,826	✓ -402	+66
(内 有利子負債)		3,871	3,867	-4	+41
資本		4,385	3,854	-531	-
D/Eレシオ（資本性調整後） ^{*1}		0.77	0.85	+0.08	-
ネットD/Eレシオ		0.65	0.72	+0.08	-
BS換算レート	円／米ドル	150	149		
	円／ユーロ	162	174		

*1 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債600億円発行済）

キャッシュ・フローの状況（前年同期比）

- 運転資本の改善等により営業キャッシュ・フロー増加

(億円)	24年度上期	25年度上期	差異
営業活動	232	389	✓ +157
投資活動	▲ 307	▲ 312	-5
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 75	77	+152
財務活動他	▲ 56	▲ 43	+13
現金及び現金同等物増減	▲ 131	34	+165

1 2025年度第2四半期決算

2 2025年度業績見通し

3 次期中期経営計画に向けた取り組み

4 参考資料

通期業績見通しサマリー（前回見通し比）

- 売上収益は据え置き、事業利益は**100億円**の減益
- 当期利益はアラミド事業における構造改革費用や減損損失等の計上により**220億円**の減益
- 1株当たりの配当金は**年間50円**で変更なし（中間配当は1株当たり25円で決定）

	(億円)	25年度前回見通し	25年度見通し	差異
売上収益		8,600	8,600	0
事業利益		350	250	✓ -100
親会社の所有者に帰属する 当期利益（損失）		120	▲ 100	✓ -220
ROE		3%	-2%	-5%
ROIC		3%	2%	-1%
D/Eレシオ（資本性調整後） ^{*1}		0.8	0.7	-0.1
1株当たり配当（円）		50	✓ 50	-
配当性向		80%	-	-

*1 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

通期業績見通しサマリー（前回見通し比） | セグメント別

- 売上収益は据え置き、事業利益はマテリアルにおける業績回復遅れやアラミドペーパー事業の譲渡等により減益

(億円)	売上収益			事業利益			差異要因
	25年度 前回見通し	25年度見通し	差異	25年度 前回見通し	25年度見通し	差異	
マテリアル	3,300	3,300	-	80	30	✓ -50	【マテリアル（アラミド）】 (+) 減損による償却費減少 (-) ユーロ高による価格低下、操業度低下、 在庫評価見直し
繊維・製品	3,500	3,500	-	180	180	-	
ヘルスケア	1,350	1,350	-	125	125	-	【マテリアル（炭素繊維）】 (-) 航空機用途、産業用途での販売量減少に伴う生産調整
その他	450	450	-	45	15	✓ -30	
消去又は全社	-	-	-	▲ 80	▲ 100	✓ -20	【その他】 (-) アラミドペーパー事業譲渡に伴う影響 他
合計	8,600	8,600	-	350	250	-100	【消去又は全社】 (-) プロジェクト費用の増加

通期業績見通しサマリー（前年度比）

- 売上収益は複合成形材料 北米事業の譲渡により**1,455億円**の減収、事業利益は**26億円**の減益

	(億円)	24年度実績	25年度見通し	差異
売上収益		10,055	8,600	✓ -1,455
事業利益		276	250	✓ -26
親会社の所有者に帰属する 当期利益（損失）		283	▲ 100	-383
ROE		6.7%	-2%	-9%
ROIC		2.6%	2%	-1%
D/Eレシオ（資本性調整後） ^{*1}		0.77	0.7	-0.0
1株当たり配当（円）		50	50	-
配当性向		34%	-	-
通期平均為替レート	円／米ドル	153	145	
	円／ユーロ	164	169	

*1 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

通期業績見通しサマリー（前年度比）

セグメント別

- 売上収益：複合成形材料 北米事業の譲渡により減収
- 事業利益：ヘルスケアはCPAPレンタル台数の増加や固定費削減効果等により増益も、マテリアルの競争激化やアラミド事業の大型定修に、アラミドペーパー事業の譲渡等もあり全体では減益

(億円)	売上収益			事業利益		
	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異
マテリアル	4,593	3,300	✓ -1,293	60	30	✓ -30
繊維・製品	3,519	3,500	-19	178	180	+2
ヘルスケア	1,370	1,350	-20	57	125	✓ +68
その他	573	450	-123	71	15	✓ -56
消去又は全社	-	-	-	▲ 90	▲ 100	-10
合計	10,055	8,600	-1,455	276	250	-26

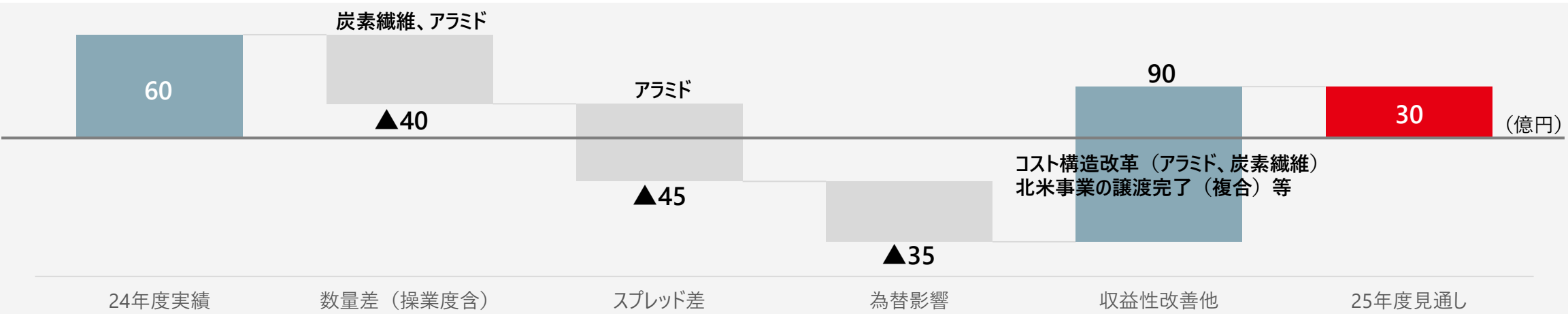
セグメント別事業利益増減分析（前年度比）

マテリアル

売上収益 3,300億円（前年度比：▲1,293億円）

事業利益 30億円（前年度比：▲30億円）

- 複合成形材料 北米事業の譲渡に伴う赤字解消、アラミド・炭素繊維でのコスト構造改革が利益に貢献
- 一方、アラミドでの大型定修の影響や販売価格の低下、炭素繊維での販売量減少等により全体では減益



	アラミド	樹脂	炭素繊維	複合成形材料
増加（+）	- コスト構造改革 生産最適化等によるコスト削減 - 減損による償却費減少 - 販売量増加 各用途で増販	スプレッド維持	コスト構造改革 生産最適化等によるコスト削減	- 収益性改善効果の定着 - 北米事業の譲渡完了に伴う赤字解消
減少（-）	- 販売価格低下（ユーロ高、拡販等） 光ファイバー用途等 - 操業度低下 大型定修の影響等	販売量減少 事務機用途等	販売量減少に伴う操業度低下 航空機、産業用途等	

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | 繊維・製品

売上収益 3,500億円（前年度比：▲19億円）

事業利益 180億円（前年度比：+2億円）

- 全体的に販売量は堅調に推移、前年度並みの利益を見込む

増加
(+)

- ・ 販売量増加
産業資材：水処理フィルター向けポリエステル短繊維、生活雑貨
- ・ 構成改善および販売価格改定

減少
(-)

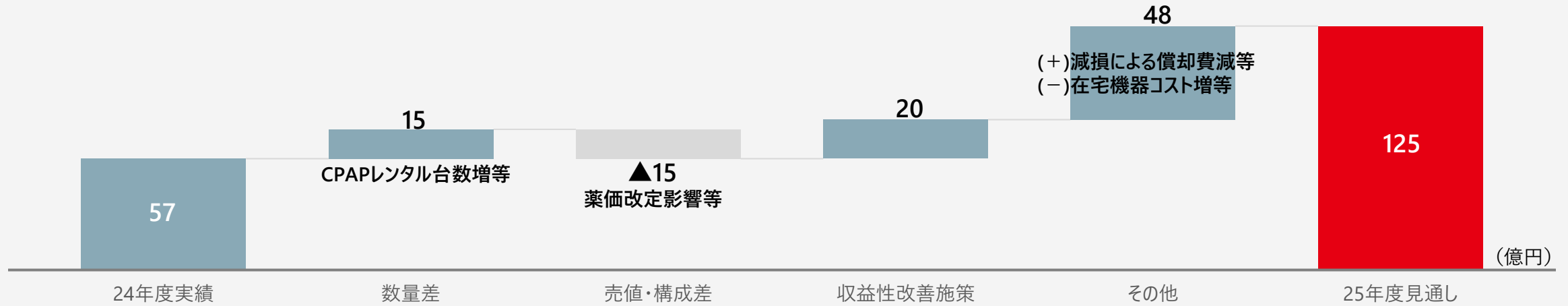
- ・ 販売量減少
衣料繊維：中国向けテキスタイル（前年度に前倒し出荷）
- ・ 拡販費用や労務費増加等

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | ヘルスケア

売上収益 1,350億円（前年度比：▲20億円）

事業利益 125億円（前年度比：+68億円）

- CPAPレンタル台数の増加や固定費削減効果の年間フル発現、減損に伴う償却費減少等により増益

増加
(+)

- ・ CPAPレンタル台数、オスタバロ販売量増加
- ・ 事業構造転換の推進に伴う固定費削減
- ・ 償却費減少
糖尿病治療剤販売権の減損等

減少
(-)

- ・ 医薬品販売量減少
糖尿病治療剤、フェブリック等
- ・ 薬価改定による影響
- ・ CPAP新機台投入に伴う償却費や消耗品使用量の増加に伴うコスト増

セグメント別事業利益増減分析（前年度比） | その他

売上収益 450億円（前年度比：▲123億円）

事業利益 15億円（前年度比：▲56億円）

- セパレータおよびメンブレンの販売は堅調に推移
- 持分法適用会社等の減益（アラミドペーパー事業損益の除外等）

増加
(+)

- 販売堅調
セパレータ（電子デバイス）、メンブレン（半導体関連）

減少
(-)

- 持分法適用会社等の減益
アラミドペーパー事業損益の除外（2025年9月から）
国内動力の燃料転換に伴う試運転費用 等

目次

1 2025年度第2四半期決算

2 2025年度業績見通し

3 次期中期経営計画に向けた取り組み

4 参考資料

次期中期経営計画に向けた取り組み

「顧客近接型ビジネスモデル」の展開

- ✓ 帝人の「強み」である「顧客近接型ビジネスモデル」を重点領域で実行
 - ① 川下展開：注力市場において、川下への軸足移行
 - ② 周辺取込：M&A等を通じた取り扱い製品の拡大
 - ③ 業界再編：経営資源効率化、規模、シェア拡大
 - ✓ 顧客近接型モデルに適合する事業を見定め優先資源配分
- 他社との協業施策が成立の見込み

【マテリアル】

高付加価値領域への集中と顧客ニーズ起点の新ビジネス創出

【繊維・製品】

更なる成長を促す顧客近接型ビジネスモデルの拡充を追求

【ヘルスケア】

事業基盤を活用した在宅医療製品へのシフトを加速



アラミド・炭素繊維の収益力強化

- ✓ 外部環境の変化を踏まえ、コスト構造改革を実行

生産体制適正化による抜本的なコスト削減



顧客近接型ビジネスモデルの展開を着実に進め、
アラミド事業、炭素繊維事業のコスト構造改革を更に踏み込んで実施することで、
次期中期経営計画期間における収益力の向上を目指す

アラミド事業における抜本的コスト構造改革の進捗状況

抜本的コスト構造改革及び大型の減損処理に伴う償却費減により、2025年度下期から業績はV字回復
「高付加価値領域への集中」と「顧客近接型ビジネスの創出」により、次期中期経営計画期間で更なる飛躍を目指す

一時的ネガティブ要因からの早期回復 (22年度～23年度)

- 原料工場火災 (2022年12月)
- 天然ガス価格高騰
- 労働力確保難
- 生産不調による生産未達
- 一部マーケットシェアの逸失

対応

- 火災からの復旧
- 安定供給体制の構築
- マーケットシェアの奪回
- 先物予約 (天然ガス変動リスク低減)

計画通り概ね達成

筋肉質で強靱な生産体制の構築 (24年度～26年度)

- 低調な欧州経済の継続、北米通商政策に起因するユーロ高ドル安などの外部環境の変化
- 競合の生産能力拡大による需給バランス軟化と価格下落圧力

対応

- 抜本的コスト構造改革 (足元の不調を踏まえ更に踏み込み)
- 生産体制の見直し
- 人員を含む固定費削減

400名超の人員と
約150億円のコストを削減

持続可能な収益モデルの確立

目指す姿

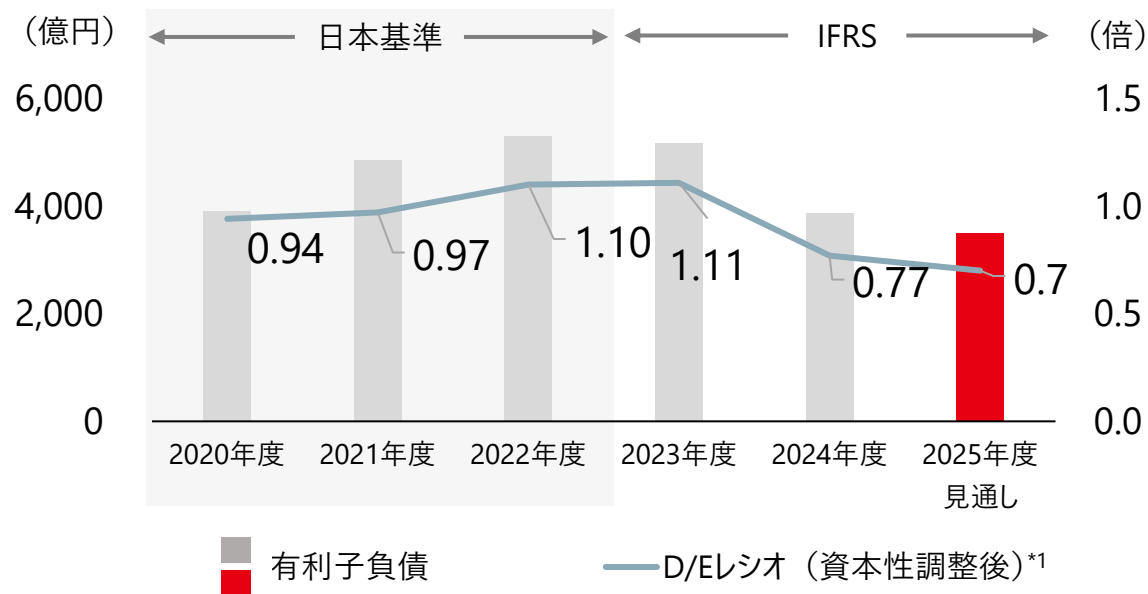
- 高付加価値領域への集中
- 顧客ニーズを起点とした新ビジネスの創出 (外部パートナーとの提携等)
- 新たな市場の取り込み (海底ケーブル用途拡大等)

高収益体質への回帰

2025年度配当見通し

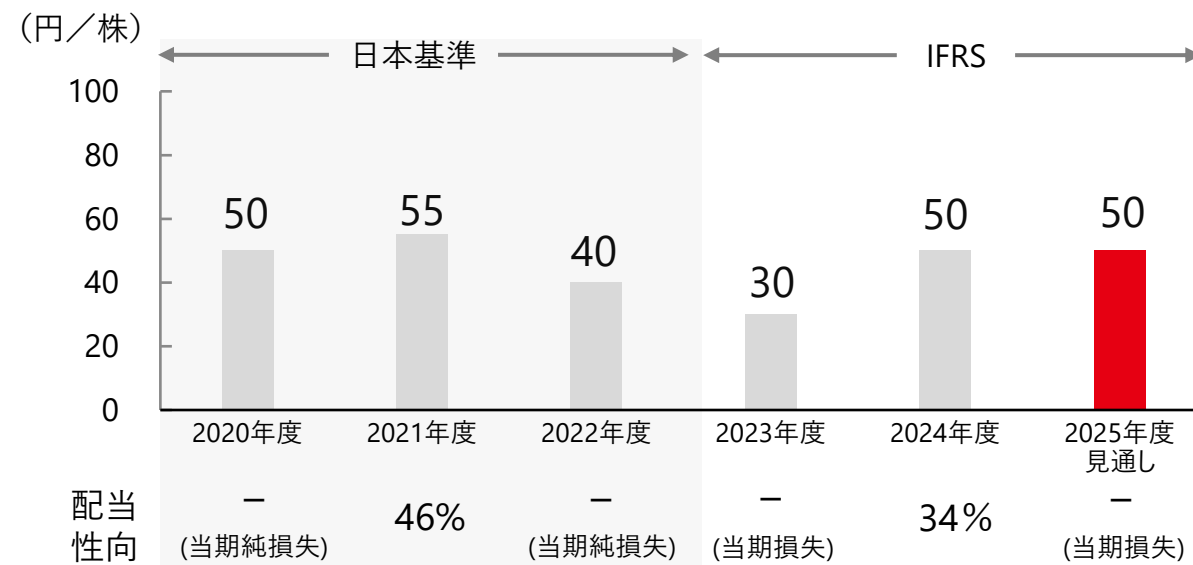
- アラミド事業の減損により2025年度決算は当期損失となる見込みも、一時的な要因であること、また、「安定的・継続的な配当」を行うとの観点から、1株当たりの配当金は、**年間50円**の見通しから変更なし（中間25円決定、期末25円予定）

有利子負債・D/ELシオ推移



*1 劣後債資本性調整後のD/ELシオ（2021年7月21日 劣後債 600億円発行済）

一株当たり配当金推移



目次

- 1 2025年度第2四半期決算
- 2 2025年度業績見通し
- 3 次期中期経営計画に向けた取り組み

4 参考資料

前提 | 当社の主要ターゲット市場の動向（2025年度）

産業セクター		主に関連する事業	マクロ環境
モビリティ	自動車	マテリアル全般 繊維・製品	欧州は景気回復の勢いが乏しく、低成長が継続 中国は地場メーカーが牽引し、全般的に堅調も、成長の安定化は不透明 日本は前年度の低調から緩やかな回復を見込む
	航空機	マテリアル (炭素繊維)	サプライチェーン上での調達制約が継続も、主要航空機メーカーにおける納入実績は前年同期水準に回復。市場は中長期では成長見通し
インフラ＆ インダストリアル	インフラ	マテリアル (アラミド) 繊維・製品	将来成長期待の大きい海底電力ケーブルはパイロットプロジェクトが着実に進展 水処理市場は工業用や海水淡水化需要等で堅調に推移
	電気・電子	マテリアル (樹脂) 新事業 (セパレータ)	サーキュラーエコノミーへの関心の高まりにより、再生プラスチック市場が拡大 電子デバイス市場は堅調に推移
ヘルスケア		医薬品	後発化加速の一方、希少疾患・難病領域には高い医療ニーズあり (厚生労働省は希少疾病・難病の患者に対する在宅療養を含めた支援/ケア体制の充実を提唱)
		在宅医療機器	在宅医療のニーズ増大が継続 (睡眠時無呼吸症候群の国内潜在患者数は900万人以上※)

定常的な損益影響要因

セグメント	主な要因
マテリアル	・ アラミドの大型定修は3年に一度（2025年度1Qに実施。次回は2028年度1Qを予定） ・ 樹脂は毎年2Q、3Qに定修
繊維・製品	・ 衣料関係は2Q～3Qが秋冬物、4Qが春物シーズン
ヘルスケア	・ 4Qに経費集中傾向

2025年度第2四半期実績 セグメント別まとめ[前年同期比]

(億円)	合計				マテリアル				繊維・製品			
	24年度 上期	25年度 上期	差異	増減率	24年度 上期	25年度 上期	差異	増減率	24年度 上期	25年度 上期	差異	増減率
売上収益	5,075	4,510	-565	-11.1%	2,345	1,876	-469	-20.0%	1,739	1,704	-35	-2.0%
EBITDA	556	444	-112	-20.1%	171	100	-71	-41.5%	139	131	-7	-5.4%
減価償却費	373 ^{*1}	314	-60	-16.0%	154	116	-38	-24.7%	37	41	+4	+10.4%
事業利益	186	130	-56	-30.0%	17	-16	-33	-	101	90	-11	-11.2%
ROIC	3.3%	2.6%	-0.8%	-	1%	-1%	-2%	-	9%	8%	-1%	-

	ヘルスケア				その他			
	24年度 上期	25年度 上期	差異	増減率	24年度 上期	25年度 上期	差異	増減率
売上収益	693	684	-9	-1.3%	299	247	-52	-17.2%
EBITDA	196	196	+0	+0.2%	78	52	-26	-33.2%
減価償却費	142	125	-16	-11.5%	24	19	-4	-18.4%
事業利益	54	71	+17	+31.2%	55	33	-22	-39.6%
ROIC	4%	6%	+2%	-	-	-	-	-

*1 IT事業を含む

2025年度第2四半期実績 セグメント別四半期推移[前年度比、前年同期比、前四半期比]

(億円)	24年度					25年度		差異 25/2Q -24/2Q	差異 25/2Q -25/1Q
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q		
売上収益									
高機能材料	713	675	643	678	2,709	643	670	-5	+27
複合成形材料	520	437	435	491	1,884	500	62	-375	-438
マテリアル 計	1,233	1,112	1,079	1,170	4,593	1,143	733	-380	-411
繊維・製品	830	909	923	857	3,519	821	883	-26	+62
ヘルスケア	354	339	349	327	1,370	338	345	+6	+7
その他	137	161	135	139	573	128	119	-43	-10
合計	2,553	2,522	2,486	2,494	10,055	2,431	2,079	-442	-352
事業利益									
マテリアル	24	▲ 7	1	42	60	11	▲ 26	-19	-37
繊維・製品	44	57	50	27	178	41	49	-8	+8
ヘルスケア	36	18	27	▲ 24	57	40	31	+12	-9
その他	22	32	12	4	71	15	18	-14	+4
消去又は全社	▲ 22	▲ 18	▲ 21	▲ 29	▲ 90	▲ 28	▲ 19	-1	+8
合計	104	82	70	20	276	78	52	-30	-27

2025年度第2四半期実績 連結損益計算書[四半期推移]

(億円)	24年度					25年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q	2Q
売上収益	2,553	2,522	2,486	2,494	10,055	2,431	2,079
売上原価	▲ 1,919	▲ 2,370	▲ 1,898	▲ 1,953	▲ 8,140	▲ 1,872	▲ 1,993
売上総利益	634	151	588	541	1,915	559	86
販売費および一般管理費	▲ 559	▲ 709	▲ 539	▲ 896	▲ 2,703	▲ 526	▲ 543
その他の収益および費用	5	0	▲ 9	74	71	▲ 10	▲ 106
営業利益	80	▲ 557	40	▲ 281	▲ 718	23	▲ 564
金融収益および費用	▲ 16	▲ 33	4	▲ 27	▲ 73	▲ 35	▲ 4
持分法による投資損益	19	▲ 2	11	▲ 18	11	13	9
税引前四半期利益	84	▲ 592	55	▲ 327	▲ 780	1	▲ 558
法人所得税	▲ 39	1	▲ 43	104	23	▲ 6	17
非継続事業からの四半期利益	8	18	1,035	▲ 0	1,061	0	-
四半期利益	52	▲ 573	1,047	▲ 223	303	▲ 6	▲ 542
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	45	▲ 578	1,043	▲ 226	283	▲ 7	▲ 541
非支配分に帰属する四半期利益	8	5	4	3	20	2	▲ 1
営業利益	80	▲ 557	40	▲ 281	▲ 718	23	▲ 564
持分法による投資損益 ^{*1}	19	12	11	5	47	14	10
非経常的な要因による損益	4	628	19	296	947	42	606
事業利益	104	82	70	20	276	78	52
設備投資 ^{*2}	113	122	159	206	599	199	127
減価償却費 ^{*3}	193	180	171	166	710	153	161
研究開発費	73	76	70	90	309	68	83

*1 非経常的な要因により発生した損益を除いた額

*2 設備投資には無形資産の取得（M&Aは除く）を含む（2024年度はIT事業含む）

*3 2024年度はIT事業を含む

2025年度第2四半期実績 連結財政状態計算書[四半期推移]

(億円)	24年度				25年度	
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末
資産						
流動資産	6,975	6,603	7,155	5,879	6,641	5,497
非流動資産	5,916	5,105	5,038	4,734	4,810	4,182
合計	12,891	11,708	12,193	10,613	11,451	9,680
負債・資本						
負債	8,355	7,909	7,526	6,227	7,090	5,826
(内 有利子負債)	5,740	5,471	5,164	3,871	4,922	3,867
資本	4,536	3,799	4,667	4,385	4,361	3,854
合計	12,891	11,708	12,193	10,613	11,451	9,680

2025年度第2四半期実績 総資産内訳[前年度末比]

(億円)	25年3月末	25年9月末	差異
総資産	10,613	9,680	-933
現金及び現金同等物	1,075	1,109	+34
営業債権	1,667	1,696	+29
棚卸資産	2,270	2,218	-52
有形固定資産及び使用権資産	2,743	2,387	-356
のれん及び無形固定資産	938	874	-64
売却目的で保有する資産	554	83	-471
その他	1,364	1,312	-52

2025年度業績見通し セグメント別まとめ[前年度比]

(億円)	合計			マテリアル			繊維・製品		
	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異
売上収益	10,055	8,600	-1,455	4,593	3,300	-1,293	3,519	3,500	-19
EBITDA	982	870	-112	325	220	-105	255	260	+5
減価償却費	710 ^{*1}	620	-90	265	190	-75	76	80	+4
事業利益	276	250	-26	60	30	-30	178	180	+2
ROIC	2.6%	2%	-1%	1%	1%	-0%	8%	8%	-0%

	ヘルスケア			その他		
	24年度実績	25年度見通し	差異	24年度実績	25年度見通し	差異
売上収益	1,370	1,350	-20	573	450	-123
EBITDA	347	390	+43	118	70	-48
減価償却費	290	265	-25	47	55	+8
事業利益	57	125	+68	71	15	-56
ROIC	2%	6%	+4%	-	-	-

*1 IT事業を含む

主要経営指標推移

	日本基準				IFRS		
	20年度 実績	21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 見通し
ROE ^{*1}	-1.7%	5.5%	-4.1%	2.4%	-2.9%	6.7%	-2%
営業利益ROIC ^{*2}	8.6%	5.5%	1.6%	1.6%	-	-	-
ROIC ^{*3}	-	-	-	-	1.8%	2.6%	2%
EBITDA ^{*4} (億円)	1,068	1,130	878	924	984	982	870
基本的 1 株当たり当期利益 ^{*5} (円)	▲ 34.7	120.6	▲ 92.0	55.1	▲ 60.9	147.1	▲ 51.9
1 株当たり配当金 (円)	50	55	40	30	30	50	50
フリー・キャッシュ・フロー ^{*6} (億円)	281	▲ 1,087	27	234	288	1,224	650
設備投資 ^{*7} (億円)	603	2,008	625	669	774	599	650
減価償却費 ^{*6} (億円)	518	688	749	789	780	710	620
研究開発費 (億円)	327	333	319	426	327	309	290
総資産 (億円)	10,411	12,076	12,424	12,510	12,266	10,613	9,200
有利子負債 (億円)	3,800	4,852	5,294	4,989	5,169	3,871	3,500
D/Eレシオ ^{*8}	0.94	1.10	1.25	1.10	1.26	0.90	0.9
D/Eレシオ (資本性調整後) ^{*9}	-	0.97	1.10	0.97	1.11	0.77	0.7
親会社所有者帰属持分比率 ^{*10}	39.0%	36.4%	34.2%	36.3%	33.4%	40.6%	42%

*1 日本基準：「親会社株主に帰属する当期純利益÷期首・期末平均自己資本」にて算出

IFRS：「親会社の所有者に帰属する当期利益÷期首・期末平均親会社の所有者に帰属する持分」にて算出

*2 「営業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (*投下資本 = 純資産 + 有利子負債 - 現金および預金)

*3 「税引後事業利益÷期首・期末平均投下資本」にて算出 (投下資本 = 資本 + 有利子負債)

*4 日本基準：「営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)」にて算出

IFRS：「事業利益 + 減価償却費」にて算出

*5 日本基準：1株当たり当期純利益

*6 24年度まではIT事業含む

*7 設備投資には無形資産の取得 (M&Aは除く) を含む
(24年度まではIT事業含む)

*8 日本基準：「有利子負債÷自己資本」にて算出 (グロス表示)

IFRS：「有利子負債÷親会社の所有者に帰属する持分」にて算出 (グロス表示)

*9 劣後債資本性調整後のD/Eレシオ (2021年7月21日 劣後債 600億円発行済)

*10 日本基準：自己資本比率

主要医薬品 国内売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	24年度					25年度	
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
糖尿病治療剤四剤合計		55	50	53	43	200	48	46
ネシーナ	2型糖尿病治療剤	27	24	26	21	98	23	22
イニシンク	2型糖尿病治療剤（配合剤）	17	16	17	14	64	16	15
リオベル	2型糖尿病治療剤（配合剤）	7	6	6	4	23	5	5
ザファテック	2型糖尿病治療剤	4	4	4	4	16	4	5
ベニロン	重症感染症治療剤 【希少疾病用医薬品】	16	16	17	14	63	19	18
ソマチュリン*1	先端巨大症・下垂体性巨人症、甲状腺刺激ホルモン 産生下垂体腫瘍、膵・消化管神経内分泌腫瘍治療剤 【希少疾病用医薬品】	15	16	18	15	64	16	17
ボナロン*2	骨粗鬆症治療剤	15	14	14	11	54	12	12
オスタバロ	骨粗鬆症治療剤	7	7	10	9	33	12	12
フェブリク	痛風・高尿酸血症治療剤	13	12	7	6	38	7	10
ゼオマイン*3	上下肢痙縮治療剤	6	6	7	6	23	6	7
ロコア	経皮吸収型鎮痛消炎剤	5	4	5	4	17	4	4
ムコソルバン	去痰剤	3	3	3	2	12	2	2

*1 ソマチュリン/Somatuline は Ipsen Pharma (仏) の登録商標です *2 ボナロン/Bonalon はNV Organon(蘭) の登録商標です *3 ゼオマイン/Xeominは、Merz Pharma GmbH & Co, KGaA (独) の登録商標です

ESG外部評価

GPIFの以下ESG指数の構成銘柄に採用



2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

(注) MSCIインデックスへの帝人株式会社の組み入れおよび帝人株式会社によるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社による帝人株式会社へのスポンサーシップ・宣伝・販売促進を企図するものではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産であり、MSCIおよびMSCIインデックスの名称ならびにロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

MSCI ESG格付評価において「AA」を獲得



日経サステナブル総合調査 SDGs経営編において
4分野全てS以上の高評価



SRI（社会的責任投資） インデックスへの組み入れ



SOMPOサステナビリティ・ インデックスの構成銘柄に選定



ESGへの取り組みが優れている企業として 2つの国内プログラムに選定

健康経営推進



スポーツエールカンパニー
(シルバー認定*)



* 認定回数7回～9回
の企業の呼称



本資料に関するご注意

記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

医薬品、医療機器、再生医療等製品（開発中のものも含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的とするものではありません。

本資料は2025年11月5日12時に公表した弊社決算に基づくものです。